

【 演目発表について 】

以下の注意事項を厳守して、持てる力を存分に出し切った演目発表を期待しています。

1. 発表準備について（基本各参加出場校で準備する）

①本紙は、サイズが縦4 m×横6 m以内ならば、色・形・質などは自由です。

但し、完成作品は吊り下げ展示する関係で、本紙の上下にアルミ製のポールを通す袋状の折り返しを作って用意してきてください。

※詳細については、別紙【本紙作成について】を参照してください。

②筆や墨などの用具・用材に関しても自由です。

※但しカラースプレー缶塗料(水性・油性とも)の使用は禁止です。

③演目発表には、本紙の下敷きとして7.2 m×9 m以上の養生シート(ブルーシートなどで墨が抜け落ちない厚物)を持参願います。

※指定寸法以上であれば、継ぎ足し(養生テープなどで貼り合わせる)でも良い。

④使用音源(選曲自由)は、編集CDまたは生演奏で準備してください。

※持参する録音メディアは、編集CD以外不可です。

※CDは1枚に編集して、表面にチーム名を明記のうえ提出願います。

※詩文・音源・楽譜などの著作権や著作隣接権などについては十分に配慮をしてください。

(詳細については別紙【著作物使用について】を参照)

⑤完成作品は、演目発表直後に会場の正面へ吊るして展示披露します。(各作品30分間程)

従って、作品の墨が垂れてこない様に、吊り上げる前に拭き取ってもらいます。 ※厳守

そのための墨拭き取り紙(反古紙など)・雑巾・古新聞紙・ゴミ袋(大きい物)などを十二分に用意してきてください。

⑥衣装も自由ですが、高校生らしい一般常識に反しないものを着用しましょう。

2. 発表について

①学校単位で5名以上のチームであれば、書道部員以外の生徒でも、また部員と部員以外の生徒との混合でも構いません。もちろん学年・男女混合も問いません。

②開催設定テーマ「～物語」の“～”部はチームで自由に決めて演目としてください。

その演目(タイトル)を基にオリジナルなシナリオを制作しましょう。そして、チームに与えられる持ち時間内に独自のパフォーマンスを展開してください。

③各チームに与えられる持ち時間は15分間です。その内の8分間が演目発表時間です。

㊤ 持ち時間の15分間以内で、以下の(1)~(6)までを行ってください。

※総合司会者より「〇〇高校〇〇チーム入場！」のアナウンスで計時スタート。

- (1) 入場口の外に待機していて、アナウンスを合図に用具を持って発表スペースへ入場。
- (2) 直ちに用具の準備(養生シートを敷き・本紙をセット・筆や墨などを配置)に入る。
- (3) 演目パフォーマンス発表。(8分間以内)
- (4) 完成作品の墨が垂れない様に、表面の拭き取りを充分に行う。
- (5) 拭き取りの終わった作品を、展示スタッフへ渡すとともに用具の片付けをする。
- (6) 周りの飛墨を確認(処理)した後、用具を持って退場口から屋外へ出る。

※チームメンバー全員が退場口から屋外へ出切ったところで計時ストップ。

㊥ 演目発表時間(㊤の(3))の8分間以内に、以下の(1)~(4)を行ってください。

- (1) チーム代表者が「~お願いします!」を発声(必須)。 ※計時スタート
- (2) 伴奏楽曲(CD)スタートの合図をPAに送る。生演奏の場合は演奏者に合図する。
- (3) 演目パフォーマンス発表。
- (4) チーム代表者が「~ありがとうございました!」を発声(必須)。 ※計時ストップ

㊦作品解説などで作品を起ち上げたい場合は、演目発表時間(8分間)内に行ってください。

また、起ち上げに必要なポールなどは、各チームで用意してきてください。

3. その他の注意点

(1)演目発表が終わった約30分後(後の順番2チーム発表が終わった頃)に、吊り下げ展示から降ろされる自分たちの作品を受取りに来てください。(作品は屋外へ持ち出す)

※作品は持ち帰ってもらいますので、その準備をしてきてください。

(2)チーム持ち時間(15分間)と演目発表時間(8分間)は厳しく計時します。時間オーバーの場合は、審査で減点対象となります。(詳細については審査規定で確認を)

(3)審査規定などについては、11月初旬に当公式HP掲載予定の資料で御確認ください。

(4)会場内外を墨などで汚した場合は、そのチームが責任を持って洗い落としてもらいます。従って、雑巾や反古紙などを十分に用意してきてください。

(5)不測の事態で棄権メンバーが出た場合は、メンバーの交代を認めます。

また、棄権チームが出た場合は、順番を繰り上げての発表とします。

※何れの場合でも、事前に実行員会事務局へ申し出てください。